

報告会

次世代交通政策

海外先進地視察

松本市は、歩行者、自転車、公共交通と自動車調和した交通のまちづくりとして「次世代交通政策」を進めており、6月25日～29日に先進地であるフランス、ドイツの都市交通政策を視察しました。

視察の概要について報告会を開催します。
大勢の皆さまのご参加をお願いします。

【視察項目】

トラム、バス、レンタル自転車、
ゾーン30、歩行者専用ゾーン、
駅前広場

【次世代交通政策とは】

ヨーロッパの都市交通政策を参考に、中心市街地に歩行者優先ゾーンを設定し、バスや路面電車などの公共交通、歩行者、自転車の通行環境を充実させ、街なかの回遊性を高め、市街地の活性化と居住空間の確保を推進するものです。



(レンタル自転車)



(トラム)

日時 平成23年11月23日(水) 午後4時～6時

場所 松本勤労者福祉センター(松本中央4-7-26)

【内容】

○視察概要の説明・DVD映像の放映

ストラスブール(フランス)

カールスルーエ(ドイツ)

フライブルク(ドイツ) 視察先:イノベーションアカデミー

パリ(フランス) 視察先:自治体国際化協会パリ事務所

ナント(フランス) 視察先:ナント・メトロポール都市共同体

○質疑・意見等

入場料 無料

駐車台数に限りがありますので、公共交通機関利用のご協力をお願いします。

【問合せ】

松本市政策部交通政策課

TEL 0263-34-3000(内線1112)